

# 克服へ伝え、つなぐ

久遠な歴史を保つアジアの多くの都市では無秩序な開発が進み、大気・水質の汚染や地盤沈下など環境問題が発生している。問題を解決するため各都市がどう連携し、メルカートはどんな役割を果たすべきなのか。国連都市化研究会議は13日、福岡市で第5回アジア都市ジャーナリスト会議を開いた。西日本新聞社主催の「アシタ・ハシタ」福岡本部と国土交通省が主催した「アシタ・ハシタ」福岡本部長が開会式で、西日本新聞社編集委員会会長の西田忠彦・人間社会立候補が挨拶した。

## 人口激増 公共交通が悲鳴

アルン・カティヤール（元インディア・トゥ・バンベイ支局長）は、「人が乗車することもある。また、歩きやすさを高めることが必要だ。市民との接觸も大切だ」と話す。ソムハタイ・モシカ氏（元インディア・トゥ・バンベイ支局長）は、「公共交通機関の改善に向けて、モトロード（自転車道）を設けよう」と述べた。

## 街づくり計画 見えぬ効果



## 川の水質悪化、地盤沈下も

クエン・ハム・バオ（サイゴン解放記者）は、「河川の水質悪化に対する懸念がある。河川をきれいに保つことは、人々の命を守るために重要だ」と述べた。



元インディア・トゥ・バンベイ支局長  
アルン・カティヤール氏



元インディア・トゥ・バンベイ支局長  
ソムハタイ・モシカ氏



元インディア・トゥ・バンベイ支局長  
エフィ・マリアニ・ソフィアン氏



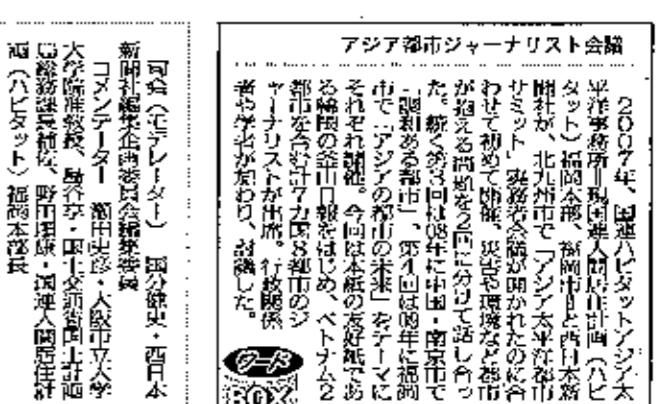
元インディア・トゥ・バンベイ支局長  
グエン・ハム・バオ・チュック氏



元インディア・トゥ・バンベイ支局長  
ペトナム・テレビ記者  
グエン・マン・トゥアン氏



## 第5回アジア都市ジャーナリスト会議



アジア各国の記者は、  
ジャーナリスト会議開口  
の12日、北九州市にあ  
る海水淡化・下水回  
用の統合システム施設  
「ウォーターフラグ北九  
州」（小倉北区西港町）  
と同市製錬ミヨシアム  
(八幡東区東町) を視察  
した。

まだ、環境モデル都市として  
環境モデル都市として  
海外水ビジネスにも取  
り組む北九州市が、  
「ウォーターフラグ北九  
州」（小倉北区西港町）  
と同市製錬ミヨシアム  
(八幡東区東町) を視察  
した。  
会話を実験をもとに  
環境モデル都市として  
海外水ビジネスにも取  
り組む北九州市が、  
「ウォーターフラグ北九  
州」（小倉北区西港町）  
と同市製錬ミヨシアム  
(八幡東区東町) を視察  
した。

## 最先端の造水技術を見学

日本初の海水淡化プラ  
ントであるウォーターフラ  
グでは、淡水化した下水を  
海水と、ろ過した下水を  
混ぜて工業用水を作り  
出す装置を見学。記者た  
ちは「建設費用はいくら  
か」と熱心に質問してい  
た。

## 死の海」克服体験に感銘

日本初の海水淡化プラ  
ントであるウォーターフラ  
グでは、淡水化した下水を  
海水と、ろ過した下水を  
混ぜて工業用水を作り  
出す装置を見学。記者た  
ちは「建設費用はいくら  
か」と熱心に質問してい  
た。

